



# 過去の事故をもとに、安全装置を発明。 ものづくりの現場の安全を守っています

株式会社 小森安全機研究所

所在地／越谷市登戸町19-14 TEL.048-961-6789 <https://www.komorisafety.co.jp>

設立／1955(昭和30)年4月 従業員数／33名(2025年12月現在)



もっと、くわしく  
みてみよう!

## 私たちの仕事

私たちは、「安全はすべてに優先する」を合言葉に、工場などの製造現場で、人がけがをしないようにするための安全な仕組みを考える仕事をしています。たとえば、人の手や体が機械に近づきすぎると止まるセンサーや、大きな機械にうっかり手が入らないようにするカバーなどを販売しています。安心して働ける場所にするには、何よりも安全が大切です。日本全国の製造現場に安全を創ることを目標に、日々仕事に取り組んでいます。



▲本社

## 安全装置の開発・販売の仕事とは?

### 人や機械を守る技術を広める

ものづくりの技術が進む中で、工場や作業場の安全を守る仕事です。働く人が安心して作業を行えるように、けがや事故をふせぐための提案をつづけています。



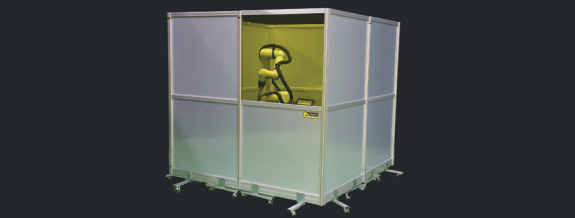
### 日本で最初の安全装置を発明



レーザー安全装置：ロボットをなすどきに、人がはさまれてけがをしないようにするための装置

私たちは、過去に工場でおきた事故から、けがをへらしたいと強く思い、1952(昭和27)年ごろ、日本で初めて工場働く人を守る安全装置を発明しました。

### 工場の進化とともに安全対策も進化



工場ではロボットなどの機械がふえて、けがのかたちも変わりました。レーザーを使った安全装置や、レーザーの光から身を守る特別なガラスを使ったフェンスなどが必要となりました。

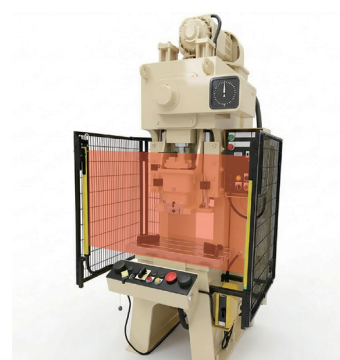


## ? 具体的にどんなことをしているの?

### 安全とまちをつなぐ

工場などに、光やカメラを使った安全装置の設置の提案をしています。そして、地元のスポーツチームを応援し、地域の人たちとのつながりも大切にしています。

### 光のバリアでけがを防ぐ 「光線式プレス安全装置」



プレスという大きな力を加える機械に、見えない光のバリアをつけます。人の手がそのバリアに入ると、機械が動くのをとめてくれる仕組みです。これにより、手をはさむような大きな事故をふせぐことができます。

### きげんな動きをすぐに知らせる 「AIカメラ監視システム」



AIが入ったカメラが、工場働く人の動きを見守ります。人がきげんな場所に近づいたときに、音や光で知らせます。すぐに機械をとめることもできます。人が気づきにくい動きも見つけられるので、安全に仕事ができます。

### プロバスケットチーム 「越谷アルファーズ」を応援



私たちは、装置の開発だけでなく、地元のプロバスケットチームを応援して、地域とのつながりも大切にしています。スポーツを通して、たくさんの人に元気や勇気をとどけるチームの活動を見守っています。



## はたら ひと こえ 働く人の声

仕事のやりがいを聞いてみました。

製造・開発グループ  
斎藤 敬之さん



製造・開発グループ  
グエン フウ タンさん

### 安全を届けるものづくり

安全装置を組み立て、正しく動くかを確認する仕事をしています。組み立てた装置が人のけがをふせぎ、毎日の仕事を安全にするために役立てることにやりがいを感じます。

### 安全を生み出すアイデア

新しい安全装置の仕組みやデザインを考えています。自分のアイデアで工場の人々が安全に働けるようになると、とてもうれしいです。ロボット好きな人には、とても楽しい仕事ですよ!